

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
高度建築計画											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	丸山尚子			実務 経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
計画原論、都市計画、建築史の分野について、さらに深く専門的に学びます。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①現代の住宅計画、教育施設の実例について理解する。②現代の商業施設、公共施設の実例について理解する。③建築計画のデジタル手法、最新の建築技術から現代の設計手法を理解する。											
授業方法											
これまでに学習した建築計画の基礎をもとに現代におけるその建築の実践例を通じてその建築計画、特に建築計画各論の側面より論じ考察する。そこから現代建築、都市に関する計画的アプローチとその問題点について考察する。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。											
履修上の注意											
基礎となる建築計画について基本的な理解を前提としていることからその基礎についてより意識を高め受講準備をすること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
なし											
回数	授業計画										
第1回	脱nLDKから始まる住宅計画										
第2回	集合することの意味と実践										
第3回	文化の融合とその器としての図書館										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
高度建築計画	
第4回	教育の場としての完成から展開へ
第5回	コミュニティー施設としての劇場とその機能
第6回	複合と地域コミュニティーの拠点としての建築
第7回	開かれた行政機関を目指して
第8回	近代都市の完成とその教訓をふまえて
第9回	形態とその設計手法について
第10回	デジタルと建築の関係
第11回	世界の建築の潮流
第12回	最新建築技術の紹介
第13回	人口減少時代の日本の建築のこれから
第14回	地方創生と働き方とオフィス空間
第15回	総まとめ